

こんにちは！戸田の会です。

レポート vol. 28
(2026年1月発行)



令和8年度予算要望と物価高対策要望を提出!!

戸田市議会会派「戸田の会」は、令和8年度の予算要望(10月8日)および物価高対策に関する要望(12月17日)を、菅原市長に提出いたしました。近年の物価高騰や人手不足、少子高齢化の進行などにより、市民生活を取り巻く環境は依然として厳しさを増しています。とりわけ、子育て世帯や高齢者、日々の暮らしに不安を抱える方々への支援は、これまで以上に重要な課題となっています。



▲レポート・発行物

私たち「戸田の会」は、日頃からの市民の皆さまとの対話や現場での声を大切にしながら、戸田市が将来にわたって安心して暮らせるまちであり続けるため、必要な施策を検討し、今回の要望として取りまとめました。

衛生センターごみ問題への総合対策

リチウム電池や火災対策、効率的なごみ処理体制を！



誰もが利用できる公園整備

ボール遊びや多様な利用ができる公園整備の推進を！



障がい者就労や移動支援の充実

安心して働ける就労先の確保や通勤・通所等の移動支援を！



妊娠・出産・産後支援の強化

妊娠から産後まで切れ目なく支える子育て支援を！



浸水対策の推進

関係部署と連携し、道路冠水を防ぐ雨水対策の強化を！



ごみ集積所管理と環境美化

ごみ集積所の管理徹底と不法投棄のない生活環境を！



多様なスポーツ環境の整備

年齢や障がいの有無を問わず楽しめるスポーツ環境を！



医療的ケア児支援の推進

医療的ケア児と家族が地域で安心して暮らせる支援を！



子ども・若者総合相談支援

0歳から30代まで切れ目なく相談できる支援体制の整備を！



避難所運営体制の強化

地域や避難者が主体の避難所運営の構築を！



受動喫煙防止対策の推進

駅や公園での受動喫煙を防ぎ、健康を守る環境整備を！



高齢者の居場所や社会参加の促進

高齢者が気軽に集える、活躍できる居場所づくりを！



親なき後の障害者支援

親なき後も安心して暮らせる障がい者支援体制の確立を！



少子化問題への総合的な対策

婚活支援や特殊な保育への配慮など子育てしやすい環境の整備を！



tocoバス利便性向上や人材確保支援

tocoバスの利便性向上やバス運転手の確保支援を！



街路樹管理による安全確保

安全で快適な通行環境を守るため、街路樹の適切な管理を！



重層的な相談支援体制

ダブルケア・老々介護・ヤングケアラーを支える相談体制を！



医療施策の評価と充実

がん検診や予防医療を充実させ、安心できる医療体制を！



公共施設の学習場所

公共施設の空きスペースを活かした身近な学びの場を！



デジタル行政の推進

LINE等を活用し、手続きが便利な行政サービスを！



埼玉県戸田市議会

戸田の会

戸田市政に関するご意見・ご要望はこちらまで、お寄せください。

郵送 戸田市笹目5-4-15

ホームページ todanokai.com

メール info@todanokai.com



前回、前々回の2回シリーズで「外国人問題」の記事を掲載したところ、「戸田の会は手ぬるい。もっと厳しくやってほしい」という人から「外国人問題について話題にすること自体が差別だ」という人まで、多くの賛否を頂きました。戸田の会は、外国人問題について建設的な議論を行うため、皆様からのご意見をさらに頂きたいと思っております。

◀◀ ご意見はこちらから

出産前後のメンタルヘルス支援

酒井 4月、市内で育児ノイローゼの母による乳児殺害という痛ましい事件がありました。戸田市は近所に知り合いのいない人も多く、手厚い対策が必要です。現在行っている相談支援に加えて、見守りを兼ねた赤ちゃん用品宅配制度、育児疲れを対象とした宿泊型預かり制度、赤ちゃんポスト・内密出産などの例を挙げ、セーフティネットを重層的に組み合わせて対応すべき！と訴えました。市当局は、産後うつ対策は「重要な施策」であるとし、充実へむけてどのような施策が有効か検討して下さるとのことです。



今の若い人たちは「退職代行」が行っていることから分かる通り、想像以上にストレスを感じやすいようです。子育てを「社会のサポートが期待できるので楽そうだ」と思ってもらえなければ、少子化問題は解消に向かわないと思います。

酒井郁郎
代表・5期・改革
議運・健康福祉
【経歴】50歳。東京大学医学部大学院、マッキンゼー（コンサル）保育・医学教育事業。予備自衛官補 【資格】国会議員政策秘書、保育士

ごみ集積所のカラス対策にトライ！

あそう 最近、市内に設置され始めたカラス対策に有効な折りたたみ式のごみネット（右の写真）が見られますが、設置場所が限られています。そのため、現状のごみ集積所でも行えるカラス対策の工夫が求められています。先日、「燃えるごみの日にもカゴを活用していて、カラス対策用に広く周知してはどうか」という市民の方からご意見をいただきました。具体的には、右の写真のように、カゴに燃えるごみを入れ、その上からネットをかけることで、カラスが網の下からごみを引き出すのを防ぐという方法です。本来カゴに入れるごみは決まっていますが、このような使い方は新しい発想でした。市の担当課からも、この方法はごみ収集のルールに反せず、収集作業にも支障がないとのことでした。カラス被害でお困りの方は、ぜひ燃えるごみの日にカゴ+ネットの工夫を試してみてください。みんな気持ちよく暮らせる街にしていきたいでしょう。



浅生和英
幹事長・3期・改革
市民生活
【経歴】大宮高校、法政大学、山一証券、美容室VASE
【資格】社会福祉士、精神保健福祉士、防災士、保育士

ごみ集積所におけるカラス対策

佐藤 ごみ集積所には、指定日以外のごみ出しや分別の不徹底、カラスによるごみの散乱など様々な課題があります。さらに、自治会未加入世帯との負担の公平性や、集積所設置場所の確保といった問題も見られます。ある地域では、防鳥ネットを設置していても、カラスがネットをめくってゴミを荒らし、散乱したまま放置される事例が発生しています。資金面や人手不足のため、十分な対策を取れない町会も多く、会員の減少で「衛生指導費交付金」も年々減少傾向にあります。高齢化も進む中、全ての集積所を適切に管理することは難しい状況です。今後は、将来を見据えたごみ集積所の管理・運営のあり方を検討するとともに、他自治体で実施されるカラス対策補助金等の導入を含め、交付金制度の見直しを検討すべきと考えます。



職員の窓口対応とマナー向上について

職員の窓口対応とマナー向上について

佐藤 他の自治体では、市民の声を反映させるために「市民満足度調査」を実施しています。本市でも市民からより高く評価される市政運営を目指し、職員のモチベーション向上やコンプライアンス意識の強化を踏まえた、わかりやすい行動規範「クレド」の導入を提案しました。

佐藤太信
3期・副議長・議
会広報・文教建設
【経歴】中央大学、大正大学院、東京電力、児童福祉施設、乳幼児教育相談、スクールカウンセラー
戸田市身体障害者福祉会会長
【資格】臨床心理士

交通事故統計の積極的な活用を！

やざわ 戸田市では、「通学路等の総点検」や「市民・警察等からの情報」に基づき危険箇所の対策を行っていますが、これだけで市内の危険箇所をすべて洗い出すことは困難です。そこで、客観的かつ網羅的に把握する手法も必要だと考え、県警のデータを活用して独自に市内全域の危険な交差点の抽出を行いました。約2年8カ月の間に3件以上の事故が発生した地点を抽出した結果、市内67カ所の交差点が該当することが分かりました。短期間に事故が多発する場所には、その背後に数多くの「ヒヤリハット」が潜んでいます。右の図は、実際に6件もの事故が発生した中町の交差点です。ここは信号機のある交差点を過ぎた先に位置しており、道路を横断する歩行者や自転車が多い等の要因が推測されます。このように客観的データを補助的に用いることで、全市的な傾向を把握し、危険箇所の見落としを防ぐことができます。私は市に対し、こうした手法を取り入れ、事故多発地点の積極的な洗い出しと先手のアウトリーチ対策を講じるよう要望しました。



矢沢青河
3期・まちづくり
総務
【経歴】1986年5月21日生
茗溪学園、鹿児島大学、FM局
県議秘書(菅原文仁現市長)
【所属】戸田市消防団(第七分団)
【資格】防災士

教職員による子どもに対する性暴力

野澤 全国的に発生している教員のわいせつ事案を受けて、未然に防ぐための本市の取組は。



教育部長 教職員が、尊厳と権利を著しく侵害した「魂の殺人」とも呼ばれる「性暴力」を行うことは断じてあってはならない。子供たちを性犯罪の被害者・加害者・傍観者にしないために、倫理確立委員会、教職員研修、盗撮防止緊急点検、設備安全点検、服務規律指導等で日々対応している。

野澤 各種報道直後に行った盗撮防止に関する緊急点検とは。

教育部長 不審物、死角や撮影機材設置が可能な箇所、不要物の整理状況を、複数名で、かつ意図的に点検者を入れ替え行った。

野澤 この犯罪が、子ども達のために断じて発生してはいけないことは当然であるとともに、他の教職員が築き上げてきた多くの信頼を一気に突き落とすことになる。教師としての自覚を持ち、自分の感情をしっかりとコントロールして子ども達と接するためにも、継続した未然防止対応が必要である。

教育長は、「信頼される教育現場を守り抜くため、本市の教職員が、自らの在り方と真摯に向き合い、自覚と誇りをもって、児童生徒が安心して学べる学校づくりに全力で取り組んで行く。」と、力強く述べた。信頼すると共に期待したい！



のざわしげまさ
野澤茂雅
2期・議会広報
市民生活

【経歴】県立宇都宮高校、東京理科大学工学部、SE、IT関連会社代表、保育園保護者会後援会会長、小中高PTA会長、町会副会長、戸田市モルック協会会長

中学校の武道場にエアコン設置を！

宮内 中学校の武道場は、剣道部をはじめ、授業でも幅広く活用されている。熱中症対策として市内全ての中学校の武道場へのエアコン設置を要望する。



戸田市 令和8年度までに市内全ての中学校武道場にエアコンを設置することを目指して、必要な調整を進めていく。

子どもの朝の居場所づくり事業を

宮内 親が子どもよりも朝早く出勤する家庭が増え、子どもが1人で家を出て小学校に登校する家庭が増えている。小学校の授業開始前に、親が子どもを安心して預けられる「朝の居場所づくり事業」の実施を。

戸田市 今後の需要を見極めながら調査していく。

乳がん検診 30代から超音波エコー導入を

宮内 乳がんは9人に1人がかかる身近な病気であり

若い女性に急増している。30代から超音波検査を受けられる戸田市独自の乳がん検診の実施を。

戸田市 国の指針に基づき実施していく。



みやうちそうこ
宮内奏子
2期・まちづくり
総務委員長

【経歴】戸田南小・戸田中、浦和第一女子高校、慶応義塾大学（文学部英米文学科）・英検1級・TOEIC 970点・英語翻訳者（特許・法律分野）・2児の母

30代特定健康診査について

小沼 多くの市民が「健康診査＝40歳からの特定健診」と認識していますが、戸田市では30代の市民を対象に、実費800円で受けられる「30代健康診査」を実施しています。生活習慣病は40代以降に突然発症するものではなく、30代からの生活習慣が将来の健康に影響します。特に、職場で健診の機会がないフリーランスや自営業の方にとって、この制度は重要です。

戸田市では旧・老人保健法の時代から30代健診を継続しており、現在は65の医療機関で受診が可能。令和7年度からは実施期間を6月～1月までに延長し、より受診しやすい環境を整えています。受診後は保健師や管理栄養士によるフォロー体制も充実。周知は「健康・保健ガイド」や広報、ホームページ等で行い、令和7年度から電子申込も開始されました。



特定外来生物の通報について

小沼 市内で確認される特定外来生物の通報体制について質問。現在は専用カテゴリーは

なく、公園や道路など発生場所に依じて通報すれば対応可能。該当外の内容も担当課へ引き継ぎ対応しており、市民が気軽に通報できる仕組みづくりが期待されます。



こぬま
小沼さゆり
1期・議会広報
健康福祉

【経歴】1987年9月21日生、戸田東小、東邦音楽中学・高校・大学卒、ファミリー音楽教室
【所属】上戸田商店会、戸田市商工会青年部

自転車用ヘルメット着用促進補助金

辺見 自転車は通勤・通学など、日常生活に欠かせない移動手段である。電動アシストやデリバリーの普及により利用が増え、信号無視や逆走、ながら運転、無灯火等危険な行動が見られる。その背景には、交通環境の混在や法改正があり、知らないうちに違反しているケースの存在が考えられる。事故防止の要は、基本的なルールの徹底と、被害を軽減する備えとしてのヘルメット着用である。研究によると、着用により頭部損傷が半減し、致命傷のリスクを約3分の1に抑えられることが確認されている。本市では令和5年から「ヘルメット購入補助金」を実施しているが今後の予定は。



ヘルメット着用

都市整備部 戸田市内の自転車事故は令和6年に112件発生し、そのうち一時停止違反などマナー違反が原因の事故は19件であった。自転車用ヘルメット着用促進補助金は、令和5年4月の道路交通法改正に伴い、同年8月から開始された。申請者数は令和5年度1,164人、令和6年度1,205人、令和7年7月末時点で401人、累計2,840人となっている。補助対象期間は令和5年8月から令和8年3月末までであり、令和7年度をもって終了する予定である。



へんみともこ
辺見智子
1期(最年少)・議
会広報、文教建設

【経歴】1993年12月2日生
國學院大學経済学部卒業
製造業の法人営業で現場を経験
金融教育の講師として全国行脚
ミスアジア・ミスワールドグランプリ

スポーツセンター建替えスタート!

みんなが利用できる施設を目指せ!

2024年より、戸田市スポーツセンター(通称スポセン)の建て替えに向けた計画づくりが本格的に動き始めました。



スポーツセンターの老朽化については、前市長の時代に「長寿命化で現在の施設を使い続ける」方針が決定されていましたが、菅原市長の判断により、老朽化し使い勝手の悪い現施設を取り壊し、新たな施設へ建て替える方向に転換されました。

長い目で見れば、整備費・運営費の抑制や、時代に合った機能を備えた施設が利用できるなど、市にとっても市民にとっても大きなメリットのある決断と言えます。

私たち戸田の会は、「市民の声を聞く」ことに加え、その声をどう形にしていかが極めて重要だと考え、以下の3点を提言します。

DBO方式※で一体発注を維持すること

※DBO方式:デザイン・施工・運営を民間事業者が一体的に行う

設計・建設・運営を分離すると、責任が分散し、運営ノウハウの乏しい事業者が介在することで、サービスや効率低下の恐れがあります。質の高い施設づくりと、完成後の持続的な運営を確保するため、DBO方式(一体発注)は不可欠です。

長寿命化よりも建替えを優先すること

建設費の上昇を理由に現在の躯体を活かす長寿命化へ戻す案もありますが、延命は長期的には高コスト化や機能不全を招く可能性が高いと指摘されています。将来ニーズに応えるためにも、時代に合った新しい機能を備えた思い切った刷新を進めるべきです。

温水プールの教訓は?



約15億円を投じた温水プールは新しく快適になった一方で、いくつかの課題も見られました。利用頻度の低い観覧席など必要以上の高機能化はコスト増につながり、通路やシャワー周りの排水不良など、管理運営の視点の不足も課題として残りました。また、検討委員会が利用者中心だったことで、議論が50mプールの是非に偏り、当初の方向性からずれる面もありました。これらの教訓を、今後のスポーツセンター再整備に活かすことが重要です。

機能をゼロから見直し、客観データをもとに再構成すること

現状機能をそのまま前提にせず、利用状況や市民ニーズなどの客観データを基に機能を再構成すべきです。一部の声だけで判断すると、温水プールのように“使いにくさを残す”事例もあります。専門家・民間の知見を積極的に取り入れ、利用実態に即した効率的でバランスの取れた施設整備を行うことが重要です。

会派インターンシップ

昨年3月に募集した「会派インターンシップ」を実施しました。地域の疑問や課題を出発点に、全5回で調査と政策提案に挑戦。発表会には菅原市長や金野桃子県議も参加し、多角的な意見交換ができました。戸田の会はこれからも、誰もが政治やまちづくりに関われる場づくりを進めていきます。



市政がぐっと身近になり、戸田市を盛り上げたい気持ちが強まりました。



市議会の活動を知り、奥深さを実感しました

温かい交流ができ、地域を良くしたい仲間に出会えました。

花火アンケートの結果

昨年も開催された花火大会。皆様からご意見をお聞きしました!
(回答55人)

○大会の目的にふさわしいのは?

大多数の人が「市民の楽しみ」と回答。市の目的「経済効果」の2倍という結果に。現在の目標「観光の推進」よりも、「市民のための花火大会」に修正するのも良さそうです。

○その他 「8月は暑すぎる。10月開催に変更を!」「市外の人に高い席、地元の人に無料席を!」など、さまざまなご意見を37件もいただきました。戸田市として大規模アンケートをとり、市民の考えに沿った花火大会になるよう要望していきます。

ご回答いただいた皆様、ありがとうございました!!

